

平成22年度
県立中学校入学者選抜

(追検査)

適性検査Ⅰ

時間 45 分
(9 : 30 ~ 10 : 15)

〈 注 意 〉

- 1 この用紙は「始め」の合図^{あいず}があるまで開いてはいけません。
- 2 用紙は全部で6枚あります。指示にしたがって用紙の右下のすみをめぐり、枚数^{まいすう}を確認^{かくにん}しなさい。枚数が不足していたら、だまって手をあげなさい。
- 3 すべての用紙の右上の決められた欄^{らん}に受検番号を書きなさい。
- 4 「始め」の合図で用紙を開き、解答を始めなさい。
- 5 印刷が悪かったり、筆記用具を落としたりしたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 6 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、表紙を上にして机の上に置きなさい。
- 7 この用紙を持ち帰ってはいけません。

1 たろうさんたちは、青森県の年れい別人口の変化について話し合っています。



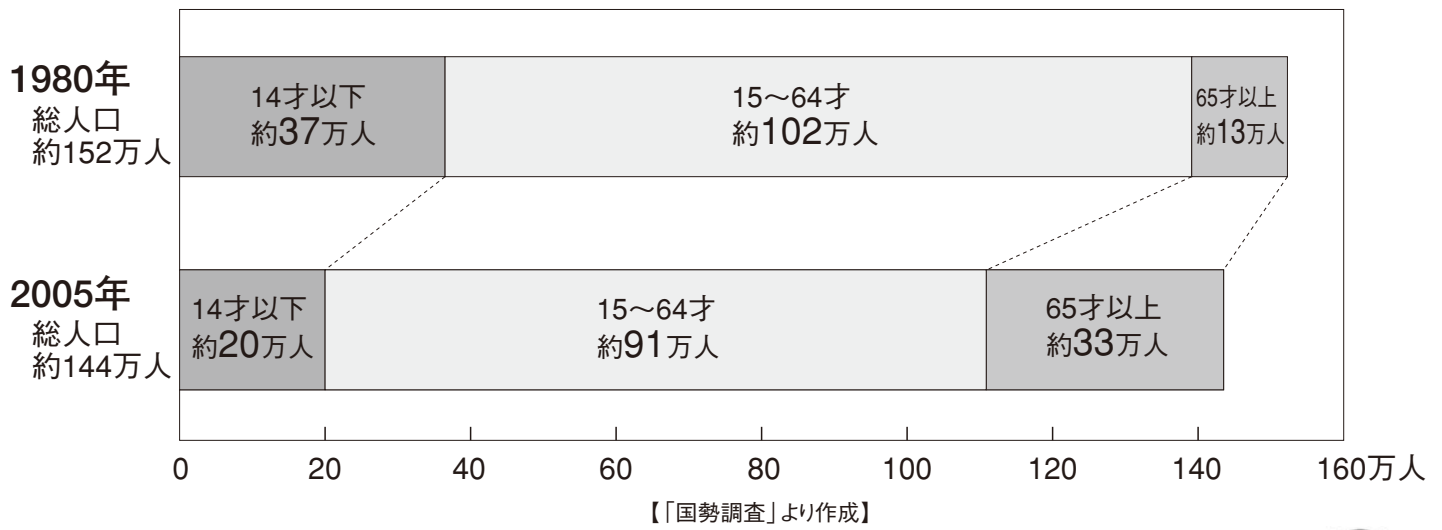
子どもの数が減り、お年寄りの数が増えているということを、最近聞くよね。お年寄りのことを高れい者ともいうけれど、高れい者というのは、何才以上の人のことなのかな。

国の人口の調査では、65才以上の人たちを高れい者とよんでいるよ。



青森県の年れい別人口の変化を調べてみたわ。

資料1 青森県の年れい別人口の変化



資料1を見ると、青森県の14才以下の人口は減って、65才以上の高れい者の人口は増えたことがわかるね。



(1) 次のたろうさんたちの会話のうち、資料1からわかることとして、正しいものには○を、正しくないものには×を、□の中に入力してください。



2005年の65才以上の高れい者の人口は、1980年に比べて、約20万人増えているんだね。



2005年の14才以下の人口は、1980年の14才以下の人口の50%以下になっているよ。



1980年の65才以上の高れい者の人口は、総人口の10%以下だったけれど、2005年には、総人口の20%以上になっているわ。



たろう

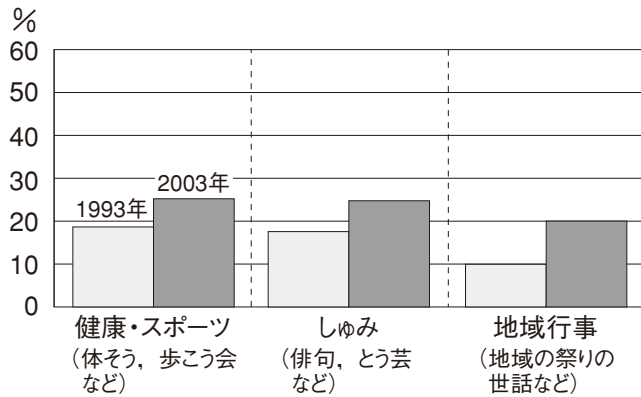
高れい者が増えているのだから、地域の中で、もっと高れい者のことを考えていかななくてはいけないね。

高れい者へのアンケートをまとめた資料があるよ。**資料2**は高れい者が参加したことがある地域の活動について、**資料3**は高れい者が今後参加したいと思っている地域の活動について、それぞれ答えてもらったものだよ。



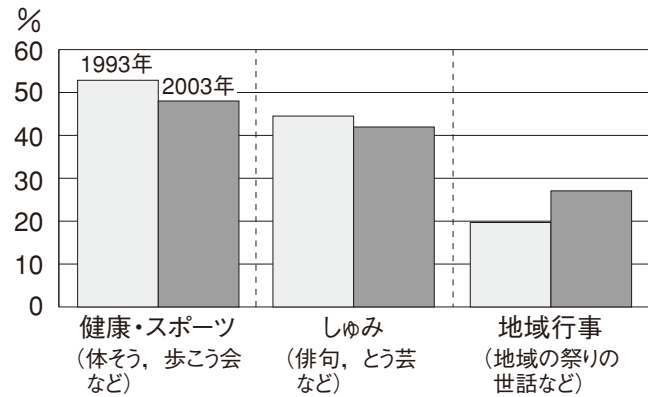
たけし

資料2 地域の活動に参加したことがある高れい者の割合



【内閣府の資料より作成】

資料3 今後地域の活動に参加したいと思っている高れい者の割合



【内閣府の資料より作成】

(2) **資料2**と**資料3**を見て、①、②の問いに答えましょう。

① ともこさんは、**資料2**と**資料3**からわかることを次のようにまとめました。

(ア)、(イ)には、それぞれどのような言葉が入るでしょうか。□の中に書きましょう。



ともこ

資料2では、2003年は、1993年に比べて、健康・スポーツ、しゅみ、地域行事に参加したことがある高れい者の割合がいずれも大きくなっているわね。その中で、(ア)の割合の変化が大きくなっているわ。
また、**資料3**では、2003年は、1993年に比べて、地域行事に参加したいと思っている高れい者の割合だけが(イ)ということがわかるわ。

(ア)		(イ)	
-----	--	-----	--

② 高れい者が、地域の活動に参加できるようにするために、あなたにできることはどのようなことだと思いますか。□の中に、あなたの考えを書きましょう。

[あなたにできること]

ところで、青森県には、すべての人が安心して生活できるような社会をめざした「青森県福祉のまちづくり条例」という県のきまりがあるそうだよ。その条例では、高れい者やしょうがい者などが自由に行動できるような施設を整備することをすすめているよ。

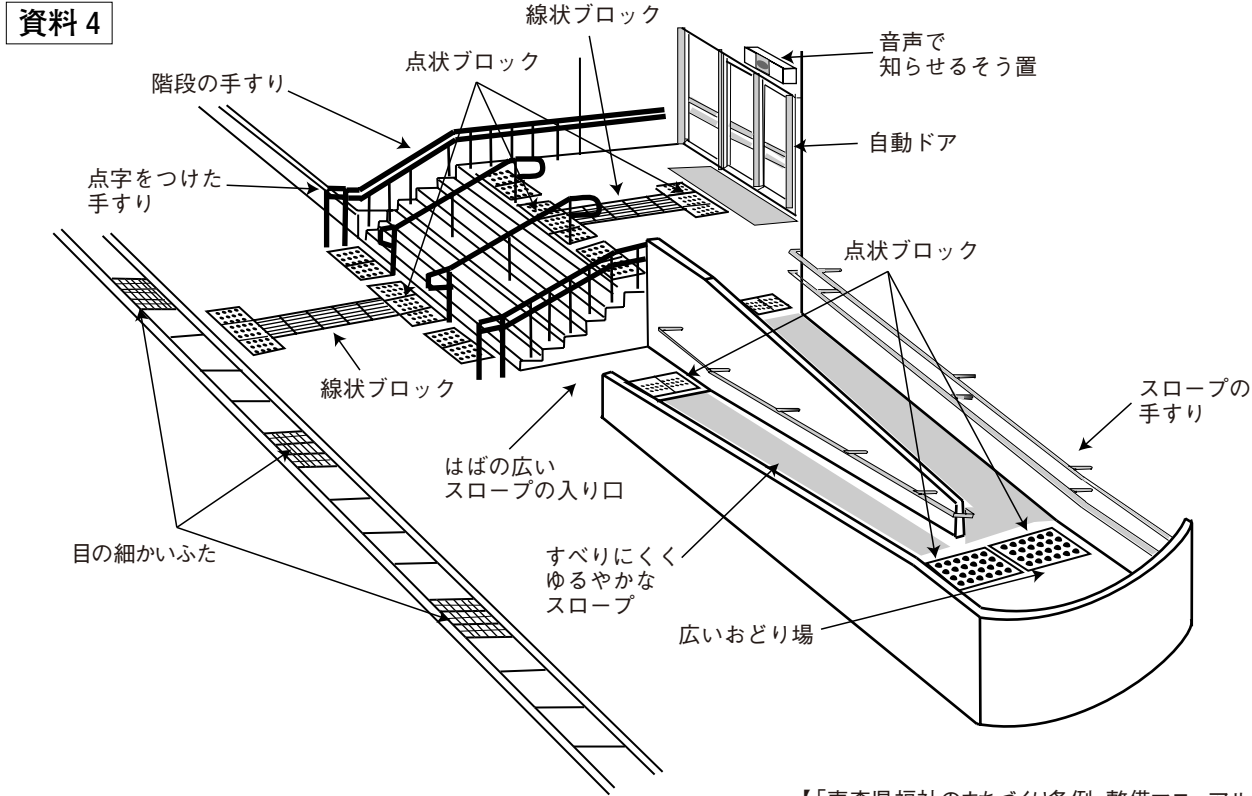


たけし



ともこ

「青森県福祉のまちづくり条例」の資料から、**資料4**のような図を見つけたわ。高れい者やしょうがい者などが自由に安心して移動できるように工夫されているわね。



【「青森県福祉のまちづくり条例 整備マニュアル」より作成】

(3) 下の の中の設備は、**資料4**にある設備の一部です。これらは、高れい者やしょうがい者などが自由に安心して移動できるように、どのような点が工夫されているのでしょうか。の中から二つ選び、(例)を参考にして の中に書きましょう。

- | | |
|---------------|-----------------|
| はばの広いスロープの入り口 | すべりにくくゆるやかなスロープ |
| 階段の手すり | 音声で知らせるそう置 |
| | 点字をつけた手すり |

設備	高れい者やしょうがい者などが自由に安心して移動できるように、どのような点が工夫されているのか
(例) 目の細かいふた	車いすの車輪やつえの先がはさまらないように、目の細かいふたをしている。

左の文章を読んで、下の問いに答えましょう。

(著作権の関係により非公開)

(田宮輝夫「みんなのなかで生きる」より)

筆者は、「周りにいる友達」について、いくつかの例をあげています。

筆者があげている友達の例の一つについてふれ、友達についてのあなたの考えを、あなた自身の体験もまじえて次のページの原こう用紙に書きましょう。

- ・ 二百四十字以上、三百字以内で書きましょう。
- ・ 題名や名前はいりません。一行目から書き始めましょう。
- ・ 必要に応じて、段落分けをして書きましょう。
- ・ 句読点（「、」や「。」）もそれぞれ字数に数えます。

